

2010年6月1日

ご依頼による標記の件に於いて調査した結果を下記の通り報告いたします。

1、調査対象

氏名：●● ●●●●（以下、本人と称する）

年齢：30歳

現住所：●●県●●市 xxxxxxxx 丁目 xx-xx-xxxx

実家住所：●●県●●市 xxxxxxxx 丁目 xx-xx-xx

世帯主名：●● ●●●●（母）

2、調査趣旨

本人の実家の状況及び借金その他問題点の確認の為の調査

3. 調査内容・結果

1) 本人の実家関連

1) ①実家の状況

本人の実家は、JR●●線「●●駅」より西へ400m内外の距離にあり、同線路沿いに面し、東側を南北に流れる「口銭場川」直近に位置する昔ながらの住宅地の一角に所在する。

住所を頼りに同家を確認すると、そこには近隣家屋より明らかに大きな敷地面積を保有する家屋の存在を見る事ができる。150坪はあろうかと思われる同家は、平

屋建てではあるものの、その風格は昔ながらの料亭若しくは武家屋敷の装いを呈する。

手入れが行き届いているのか、その装いは、決して古めかしい物とは感じられず、古風な造りの中に近代的なセンスが見え隠れする。

隣接の線路を越え、北側より同家を眺めると、庭先に婦人物と思しき衣類及びタオル類が干されている状況により、同家に所在する本人の母「●● ●●」氏のものである事が推測される。

尚、調査日当日（平日の 12 時半前後）にて、平屋造の同家は塀で囲まれた上に、植栽が周りを覆っている関係上、内部の様子は窺えず、人の気配を感じる事はできない状況であった。

1) -②不動産登記簿の確認

同家の不動産に関し登記簿を入手し、確認を行った。

同資料に依ると、141 坪強を有する同土地は、昭和 48 年 12 月 27 日売買のため、●●市●●●●xxxxxxx の「●● ●●●」並びに同市●●●●xxxxxxx「●● ●●●」にそれぞれ 2 分の 1 ずつ所有権が移転されていたのだが、経過を経て、平成 15 年 09 月 16 日その全ては相続のため「●● ●●」氏にその全ての所有権が移転されている状況を確認する。

抵当権に関しては、抵当・根抵当権共に設定されていない状況であり、負の要因は見受けられない。

尚、同家の建物に関しては、該当する登記の事実が無い事を確認する。

詳細に関しては、別添の全部事項証明書を参照の事。

1) -③親族について

父：●● ●●（平成 15 年他界）

母：●● ●●（現在同所に 1 人暮らし）

本人：●● ●●●●（別住所）●●県●●市在住

妹：不詳（別住所）●●県外在住

2) 近隣の風評

同家及びその関連で、事業に伴う借金の有無、親族内での問題人物の存在、その他について付近家屋住民から聴取を行った。

同近隣に於いて、少なくとも部外者に対しては閉鎖的な姿勢を取る家屋が多く、聴取が難航した事実はあるものの、同家に関して問題視される悪評等は聞かれなかった。

現在同所に一人住まいとされる甲の母「●● ●●」氏に関しても、夫亡き後、家業の建設関連会社は廃業したとされるが、近隣の話しに依ると、「まだ奥さんがやっておられるのではないですか？」等、廃業説には、否定的意見も聞かれる。

表面的な部分に於いて、懸念される事業に伴う同家に、多額の借金があると語る近隣は見受けられない反面、夫の他界に伴い「多額の保険金が入ったのでは？」と囁かれる事も事実である。

また、同氏並びに同家の親族について問題人物があるという風評は一切聞かれないう状況である。

その他同氏は、町内会の寄り合いには積極的に参加するなど、地域の交流に関しても余念が無く、行動的で礼儀正しい婦人との評判であり、悪評は一切聞かれなかった。

同家に出入りの人物に関しても、しばしば娘と思しき女性の出入りはあるものの、疑問人物の出入り及び交流の事実は語られることは無かった。

3. 総合評価

本人の実家関連につき調査した結果、実家近隣からは悪評は聞かれない。

本人の母「●● ●●」氏を初めとし、親類、関係者の評判は悪いものではない。

同氏は、3年前に夫の他界から今日まで、負債による生活の困窮等も無い模様であり、どちらかというところ悠々自適な暮らしぶりと思料される。

今件調査では資産総額の詳細調査を行っていない為詳細は不明であるが、現所有不動産である自宅土地建物だけでも1億円以上の資産価値があり、総合的に判断してかなり裕福な生活状況であるものと判断される。

以上

【関連写真1項】



●●●●宅



同玄関状況

【関連写真2項】



同家屋状況（南側）



付近状況（東側）

【関連写真3項】



家屋の状況（北側）



同物干し場に干される衣類